

兵庫県
保険医協会

加古川 高砂支部 ニュース

No. 210

2010年11月5日

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目二一三二

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話 〇七八一三九三一八〇一

外来での院内感染対策の基礎知識を学ぶ

第29回総会記念講演「院内感染対策のポイント」を開催

加古川・高砂支部は10月16日に、加古川商工会議所で第29回総会を開催。記念講演「院内感染対策のポイント」外来部門を中心

に「」を開催し、医師、歯科医師、看護師、スタッフら86人が参加。高砂市民病院医務局薬剤科薬剤師の有本忍氏が講演した。

総会議事では、2009年度活動報告と2010年度活動方針(裏面参照)が採択され、集団的個別指導等の現状や問題点についても意見交換を行った。支部役員改選では岡部桂一郎先生(高砂市)が支部長に再任され、青木裕加先生(高砂市)があらたに幹事

に就任した。

記念講演では、有本氏が院内感染対策の基礎知識や高砂市民病院における感染対策の取り組み状況をはじめ、感染経路別の予防策やアルコール綿など消毒薬の考え方、インフルエンザや話題になっている多剤耐性菌への対策など個別の対応策なども交えながら外来での感染対策のポイントをわかりやすく解説。

この中で、感染制御の基本となる標準予防策とは、血液、汗を除くすべての体液・分泌物・排泄物、健常でない皮膚、粘膜をすべて感染性があるものとして扱い、

感染症の有無にかかわらずすべての患者に適用することであるとした上で、これらの物質との接触が予想される際には予防具を用いたり、手洗い・消毒を行うことが、院内感染対策の基本になるとした。

また、標準予防以上の予防策が必要となる病原体に感染している患者あるいはその疑いがある患者に対する空気感染、飛沫感染、接触感染の3種類の感染経路別予防策についても言及した。

そして、医療従事者が業務中に感染する職業感染の防止対策について「ワクチン接種など防げる感染は予め防いでおく必要がある」と述べた。



指導対策についても意見交換を行った(総会議事)



熱心に聞き入る参加者(記念講演)

なお、医療安全管理対策、院内感染対策の研修については、2007年4月の医療法「改定」によって、すべての医療機関の事務職も含めた職員・従業者の研修を年2回程度実施することが義務付けられている。

払える保険料に!

加印社保協が要望書を提出

加古川・高砂支部が加盟している加印社会保障推進協議会(会長は岡部支部長)は、10月1日、加印地域二市二町(加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)に「社会保障施策についての要望書」を提出した。今後、事前に行った国民健康保険、検診の実施状況、障害者セ施策等についての自治体アンケートおよび要望書をもとに各自自治体担当者と懇談を行う。

主な要望項目は下記のとおり。
次号支部ニュースで懇談の様を報道予定。

「社会保障施策についての要望書」(抜粋)

1、国民健康保険

- ①国民健康保険料に一般会計からの繰り入れを行い、保険料を引き下げ、払える保険料にすること
- ②保険料について、低所得者減免をはじめ、母子世帯や障害者など生活困難世帯に対する減免制度を拡充すること
- ③国保法に規定されている医療機関における一部負担金減免制度を実効ある制度にすること
- ④窓口10割負担となる資格証明書の発行をやめること。高校生までのこどもには法令どおり健康保険証を無条件に送付すること

2、後期高齢者医療制度

- ①後期高齢者の即時廃止を国に求めること
- ②独自の減免制度を検討すること

3、こどもの医療費について

- ①こどもの医療費助成制度を外来・入院とも中学校卒業まで、償還払いではなく現物給付で所得制限もなく無料とすること

4、保険予防について

- ①子宮頸がんワクチン、ヒブ(細菌性髄膜炎)ワクチン、インフルエンザワクチンに補助を行うこと

2009年度 支部活動報告(概要)

- 第28回支部総会「新型インフルエンザ第2波への対応ー神戸市での経験、医療機関での対応策などー」を開催し、116人が参加。中神クリニック(西区)院長・中神一人先生を講師に招き感染対策などについて学んだ。
- 第26回地域医療を考える懇談会を開催し、70人が参加した。「認知症地域ケア～認知症患者さんを地域でささえるために～」をテーマに、医師・ケアマネジャー・グループホーム職員4人が現状報告を行った。
- 診療報酬改定対策として、支部で「診療報酬改定研究会(医科診療所対象)」を開催し、117人が参加した。
- 兵庫県立加古川医療センター見学会開催。千原和夫院長の概要説明を受けたあと病院内施設を見学。病診・病病連携のあり方など意見交換を行った。
- スタッフ対象の接遇研修会を開催した。
- 加印社会保障推進協議会は、後期高齢者医療制度の廃止を求める街頭宣伝や加古川市の国保料の引き下げを求める署名にも取り組んだ。
- 幹事会の定例開催と支部ニュースの発行を行った。
- 語り合う会は、加印年金者組合、播磨町学園北自治会に講師派遣を行った。

2010年度 支部活動方針(概要)

- 会員の要望をもとに、学術研究会や会員懇談会などを積極的に行う。また、在宅医療や医科歯科共通の研究会などを開催する。
- 保険請求や審査、指導、監査に関する情報交流や医院経営問題など、協会ならではの活動にいっそう力を注ぐ。
- 「接遇研修」「医療安全管理対策」に関する講習会など、スタッフも含めた企画を引き続き開催する。
- 新規開業医懇談会、医療制度の学習会、文化企画なども行い会員相互の意見交流と親睦をはかる。
- 加印社会保障推進協議会は、特に医療制度問題で協力・共同をはかる。「健康と医療について語り合う会」などを通じ、他団体との交流を強める。
- 日常診療に役立つ情報、地域の情報提供、さらには「会員さん紹介」などを企画し、会員相互のコミュニケーションを培う支部ニュース作りをめざす。
- 支部活動の基礎となる幹事会の充実のため、出席者の確保をふくめ改善をめざす。そのために会員の積極的な参加を促す。